

患者さんパンフレット

四国がんセンター
血液腫瘍内科



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします

- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いします



R-EPOCH療法を 受けられる方へ

さま

主治医

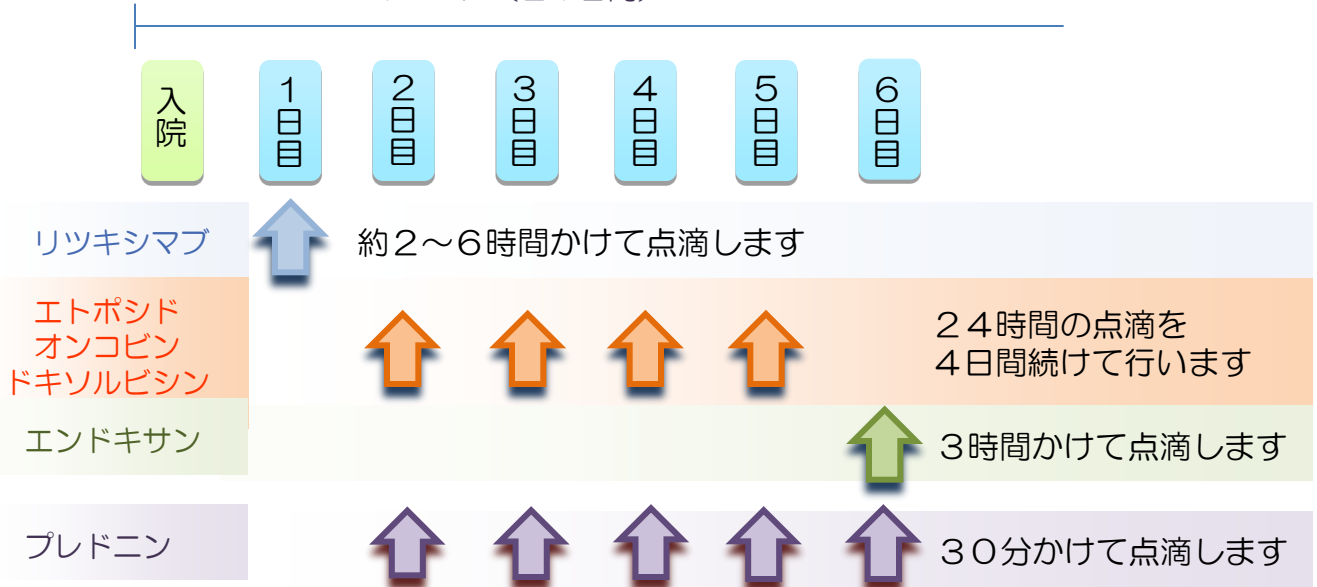
受け持ち看護師

2017年12月16日 作成
2026年2月16日 改訂

R-EPOCH療法のスケジュール

点滴投与のスケジュール

1コース（21日間）



この他に、アレルギー予防や発熱予防のための注射薬や内服薬があります

歯科受診について

- ◆治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、歯科診察を行っています
- ◆歯科受診では、以下を行います
 - ・レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - ・歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - ・適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導

口の中はとても細菌の多い場所です
治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を
きれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



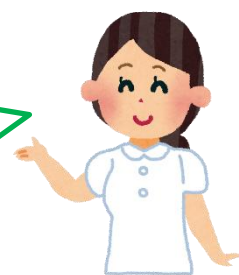
入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- * 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- * 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接接触しても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・ **男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう**



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう

- ・トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - * 使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - * トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約3週間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます



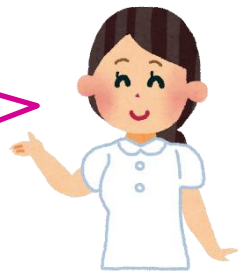


今日目標

- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>	<予定>	
10:00	入院	【入院後に以下のことを予定しています】 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明 (テレビの病院案内も参考にしてください) ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・歯科受診について ・医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります *医師、薬剤師の説明時間の指定はできません ご家族の方もお待ちください ・治療までに治療や輸血の投与に使用する目的で、腕の静脈からPICCカテーテルを挿入します (腕の静脈が難しい場合は、鎖骨下からの挿入を試みます)
10:00	検温	
10:30	血圧測定	
12:00	昼食	
14:00	検温 血圧測定	<お薬> ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか中止するかをお伝えします
18:00	夕食	<食事> ・感染予防のために、生魚、川魚、はちみつは食べないようにしましょう
19:00	検温 血圧測定	・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください ・基礎疾患(糖尿病、高血圧等)がある方は、治療食になる場合があります
21:30	消灯	・眠れないときはお知らせください

わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください

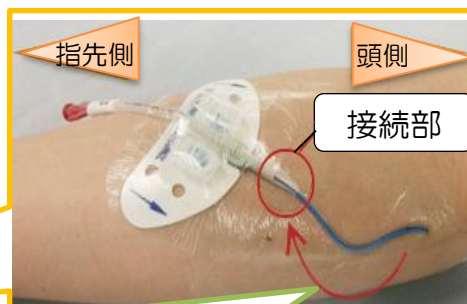
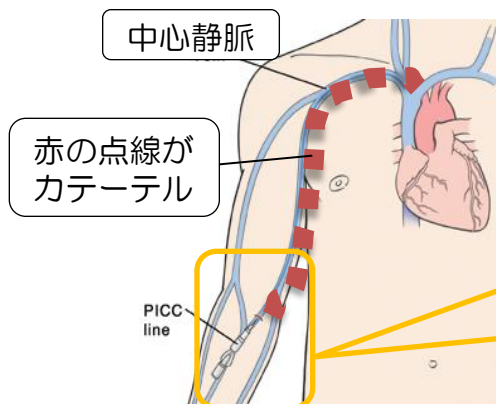


医療スタッフの目標
 ・入院生活や治療について不安がないように支援します



末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）について

PICC（ピック）とは、Peripherally Inserted Central venous Catheter の略です。腕の末梢静脈から挿入し、カテーテルの先端が中心静脈（上大静脈）に留置されるカテーテルのことを言い、抗がん剤や高カロリー輸液・輸血の投与などで使用します。長期間使用するため、カテーテル感染や破損に注意が必要です。



肘関節の屈曲に影響しない緩やかなループ

★固定方法★

- 腕の動きでカテーテル全体が動きやすいため、挿入部を中心にテープ類を使用してしっかりと固定します。

★観察とケア★

- 挿入部は毎日観察します。
※以下のようなことがあればすぐにお知らせください

チェック項目
テープ類が剥がれていないか、濡れていないか
挿入部や周囲の皮膚に赤み、腫れ、熱感、痛み、かゆみはないか
挿入部や接続部から点滴や血液が漏れていないか
カテーテルが抜けてきていないか

- 1日に1回、カテーテルに生理食塩水を通します
- 週1回（火曜日）は挿入部を消毒し、テープ類を交換します。消毒時にカテーテルの長さを確認します。

★挿入中の注意★

- PICC留置～2日間は、歩行時など留置した側の肘は曲げたまま動きましょ（腕を振ることにより出血する恐れがあるため）
- PICCを引っ張ったり引っかけないようにしましょう
- 点滴投与中はPICCが挿入された腕を曲げたり、押さえないようにしましょう
- シャワー浴の際は、挿入部が濡れないように保護します。シャワー前にスタッフステーションで看護師にお声がけください

ビニール手袋で腕全体を覆う



保護したPICC挿入部



治療前

月

初回の方

日～

月

日

今日の目標

- ・ 治療やカテーテル挿入中の注意点について理解できる

<時間>	<予定>
6:00	起床、洗面 検温、血圧測定、体重測定
7:30	朝食
10:00	検温、血圧測定 抗がん剤についての説明をします 「化学療法による副作用について」ページ参照 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
12:00	昼食 治療前日にはシャワー浴をしておきましょう 治療についてわからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいこと などがありましたら、遠慮なくお尋ねください
14:00	検温、血圧測定
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

医療スタッフの目標

- ・ 入院生活や治療について不安がないように支援します



初回の方 抗がん剤投与1日目

月

日



今日の日

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- カテーテル挿入中の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00 起床、洗面、検温、血圧測定、体重測定 体重は点滴開始までに測定し、
検温表に記入してください

7:30 朝食
感染予防のために、本日から生魚、川魚、はちみつは食べないように
しましょう

10:00 検温、血圧測定

点滴を始めます

①アレルギー予防の点滴 解熱剤の服用	【30分】
-----------------------	-------

12:00 昼食

②抗がん剤（リツキシマブ）	【1時間】
---------------	-------

③抗がん剤（リツキシマブ）	【1時間】
---------------	-------

④抗がん剤（リツキシマブ）	【1時間】
---------------	-------

14:00 検温
血圧測定

⑤抗がん剤（リツキシマブ）	【約3時間】
---------------	--------

- 点滴が入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるとき、肩や背中に痛みや違和感を感じたときは、すぐにお知らせください
- 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気があるなど、気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください

18:00 夕食

点滴終了後は、シャワー浴ができます
防水のため、ビニール手袋をお渡しします

19:00 検温
血圧測定

21:30 消灯



フタをして水を
2回流しましょう



医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます



2回目以降の方

入院日 抗がん剤投与1日目


月

日



今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- カテーテル挿入中の注意点について理解できる

<時間>	<予定>
10:00	入院 検温、血圧測定、体重測定 （体重は点滴開始までに測定し、 検温表に記入してください） 血液検査 感染予防のために、生魚、川魚、はちみつは食べないようにしましょう
12:00	昼食 医師が血液検査の結果を確認します 点滴を始めます <ul style="list-style-type: none">①アレルギー予防の点滴 【30分】 解熱剤の服用②抗がん剤（リツキシマブ） 【1時間30分】
14:00	検温、血圧測定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><ul style="list-style-type: none">・点滴が入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるとき、肩や背中に痛みや違和感を感じたときは、すぐにお知らせください・息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気があるなど、気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください</div>
18:00	夕食 <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block; margin-top: 10px;">点滴終了後は、シャワー浴ができます 防水のため、ビニール手袋をお渡しします</div>
19:00	検温 血圧測定
21:30	消灯 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"><div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">フタをして水を 2回流しましょう</div></div>



医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- カテーテル挿入中の注意点について理解できる

<時間>	<予定>
6:00	起床、洗面、検温、血圧測定、体重測定 〔体重は点滴開始までに測定し、検温表に記入してください〕
7:30	朝食
	シャワー浴
9:30	吐き気止めの薬（アプレピタントカプセル）を服用します
10:00	検温 血圧測定
	10:30～ ①吐き気止めとプレドニンの点滴 【30分】
	11:00～ ②抗がん剤（エトポシド、ドキシソルビシン、オンコビン） 【24時間】
12:00	昼食
	22:00～ ③吐き気止めの点滴 【30分】
14:00	検温 血圧測定
	<ul style="list-style-type: none"> 点滴が入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるとき、肩や背中に痛みや違和感を感じたときは、すぐにお知らせください 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気があるなど、気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください
18:00	夕食
	<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> シャワー浴はできません 体調に合わせて体を拭いたり、 洗髪や足浴をしましょう 看護師へご相談ください </div>
19:00	検温、血圧測定
	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> フタをして水を 2回流しましょう </div>
21:30	消灯



医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- カテーテル挿入中の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00 起床、洗面、検温、血圧測定、体重測定 (体重は点滴開始までに測定し、検温表に記入してください)

7:00 吐き気止めの薬（アプレピタントカプセル）を服用します

7:30 朝食

10:00	検温 血圧測定	10:00~ ①吐き気止めとプレドニンの点滴 【30分】	
		11:00~ ②抗がん剤（エトポシド、ドキシソルビシン、オンコビン） 【24時間】	
12:00	昼食	22:00~ ③吐き気止めの点滴 【30分】	

14:00 検温
血圧測定

- 点滴が入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるとき、肩や背中に痛みや違和感を感じたときは、すぐにお知らせください
- 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気があるなど、気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください

18:00 夕食

19:00 検温、血圧測定

シャワー浴はできません
体調に合わせて体を拭いたり、
洗髪や足浴をしましょう
看護師へご相談ください



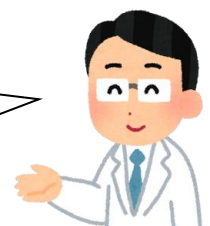
21:30 消灯



フタをして水を
2回流しましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- カテーテル挿入中の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00 起床、洗面、検温、血圧測定、体重測定 体重は点滴開始までに測定し、
検温表に記入してください

7:00 吐き気止めの薬（アプレピタントカプセル）を服用します

7:30 朝食

10:00 検温 10:00~ ①吐き気止めとプレドニンの点滴 【30分】
血圧測定

11:00~ ②抗がん剤（エトポシド、ドキシソルビシン、
オンコビン） 【24時間】

12:00 昼食

22:00~ ③吐き気止めの点滴 【30分】

14:00 検温
血圧測定

- 点滴が入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるとき、肩や背中に痛みや違和感を感じたときは、すぐにお知らせください
- 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気があるなど、気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください

18:00 夕食

19:00 検温、血圧測定

シャワー浴はできません
体調に合わせて体を拭いたり、
洗髪や足浴をしましょう
看護師へご相談ください



21:30 消灯



フタをして水を
2回流しましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- カテーテル挿入中の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00 起床、洗面、検温、血圧測定、体重測定 (体重は点滴開始までに測定し、検温表に記入してください)

7:00 吐き気止めの薬（アプレピタントカプセル）を服用します

7:30 朝食

10:00 検温
血圧測定

10:00~ ①吐き気止めとプレドニンの点滴 【30分】

11:00~ ②抗がん剤（エトポシド、ドキシソルビシン、オンコビン） 【24時間】

12:00 昼食

22:00~ ③吐き気止めの点滴 【30分】

14:00 検温
血圧測定

- 点滴が入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるとき、肩や背中に痛みや違和感を感じたときは、すぐにお知らせください
- 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気があるなど、気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください

18:00 夕食

シャワー浴はできません
体調に合わせて体を拭いたり、
洗髪や足浴をしましょう
看護師へご相談ください

19:00 検温
血圧測定



21:30 消灯



フタをして水を
2回流しましょう

医療スタッフの目標


- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- カテーテル挿入中の注意点について理解できる

<時間>	<予定>
6:00	起床、洗面、検温、血圧測定、体重測定 〔体重は点滴開始までに測定し、検温表に記入してください〕
7:30	朝食
10:00	検温 血圧測定
10:00~	①吐き気止めとプレドニンの点滴 【30分】
11:00~	②抗がん剤（エンドキサン） 【3時間】
12:00	昼食
14:00	検温 血圧測定
	プレドニンの点滴が終了したことによって倦怠感が強くなる場合があります（プレドニン離脱症候群）
	<ul style="list-style-type: none"> 点滴が入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるとき、肩や背中に痛みや違和感を感じたときは、すぐにお知らせください 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気があるなど、気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください
18:00	夕食
	点滴終了後は、シャワー浴ができます 防水のため、ビニール手袋をお渡しします
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯
	 <p>フタをして水を2回流しましょう</p>



医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- ・治療についての副作用やカテーテル挿入中の注意点、感染予防行動について理解できる

<時間>

<予定>

6:00 起床、洗面、検温、血圧測定、体重測定

7:30 朝食

9:00 必要時、血液検査を行います

10:00 検温、血圧測定
今後起こりうる副作用や感染対策について説明します

12:00 昼食

プレドニンの点滴が終了したことによって
倦怠感が強くなる場合があります
(プレドニン離脱症候群)

14:00 検温、血圧測定

活動の制限はありません
シャワー浴ができます

18:00 夕食

19:00 検温、血圧測定

21:30 消灯



フタをして水を
2回流しましょう

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます





今日の目標

- ・ 治療についての副作用やカテーテル挿入中の注意点、感染予防行動について理解できる

<時間>	<予定>
6:00	起床、洗面、検温、血圧測定、体重測定
7:30	朝食
9:00	必要時、血液検査を行います
10:00	検温、血圧測定
12:00	昼食
14:00	検温、血圧測定 活動の制限はありません シャワー浴ができます
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯



プレドニンの点滴が終了したことによって
倦怠感が強くなる場合があります
(プレドニン離脱症候群)



フタをして水を
2回流しましょう

MEMO 気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
・ 室内環境を整え、感染防止に努めます





今日の目標

- 37.5℃以上の発熱時は医療スタッフに伝えることができる
- 感染予防行動がとれる

<時間>	<予定>
6:00	起床、洗面、検温、血圧測定、体重測定
7:30	朝食
9:00	必要時、血液検査を行います
10:00	検温、血圧測定
	* 骨髄抑制期です 検温時、37.5℃以上の発熱があればすぐに看護師に伝えてください 抗生剤の点滴が始まります 感染予防に努め、手洗い、うがい、部屋から出るときのマスクの着用 などを徹底しましょう
12:00	昼食
14:00	検温、血圧測定
	活動の制限はありません シャワー浴ができます
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯



MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 室内環境を整え、感染防止に努めます





今日の目標

- 37.5℃以上の発熱時は医療スタッフに伝えることができる
- 感染予防行動がとれる

<時間>	<予定>
6:00	起床、洗面、検温、血圧測定、体重測定
7:30	朝食
9:00	必要時、血液検査を行います
10:00	検温、血圧測定
	* 骨髄抑制期です 検温時、37.5℃以上の発熱があればすぐに看護師に伝えてください 抗生剤の点滴が始まります 感染予防に努め、手洗い、うがい、部屋から出るときのマスクの着用 などを徹底しましょう
12:00	昼食
14:00	検温、血圧測定
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯



MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 室内環境を整え、感染防止に努めます



発熱、感染症出現時

抗生剤投与中

月 日～ 月 日



今日の目標

- ・治療中の副作用症状について理解できる

<時間>	<予定>
6:00	起床、洗面、検温、血圧測定、体重測定
7:30	朝食
9:00	必要時、血液検査を行います
10:00	検温、血圧測定 抗生剤の点滴が1日2～3回あります 1回の点滴時間は1時間程度です ・1日2回の場合の目安：10時と21時頃 ・1日3回の場合の目安：6時と14時と22時頃 〔 開始時刻は発熱時刻により異なりますので、2回目以降の時間を調節することもあります 〕
12:00	昼食
14:00	検温、血圧測定 シャワー浴もできますが、体調に合わせて体を拭くこともできます 看護師がお手伝いします
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯



医療スタッフの目標

- ・症状悪化の防止に努めます





今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

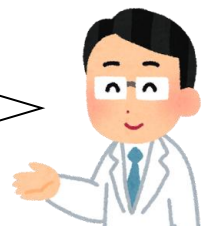
<時間>	<予定>
6:00	起床、洗面、体重測定
7:30	朝食
10:00	検温、血圧測定
12:00	昼食
	退院後の日常生活やカテーテルの管理について説明します
	退院後も感染予防に努め、手洗い、うがい、部屋から出るときのマスクの着用などを徹底しましょう
14:00	検温、血圧測定
	副作用と対策について説明します 治療17日目～19日目頃：脱毛について 「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照 「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」のパンフレット参照
18:00	夕食
21:30	消灯

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院の準備がすすめられるように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00 起床、洗面、検温、血圧測定、体重測定

7:30 朝食

9:00 検温、血圧測定

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00 退院

退院前に忘れ物がないようにご確認ください

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

次回外来受診は

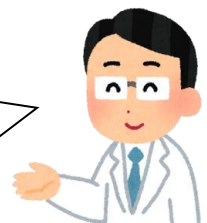
月 日 時の予定です

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します



化学療法による副作用について

リツキシマブの副作用対策

点滴に伴うアレルギー症状が初回24時間以内、点滴のスピードを上げたときに生じることがあります
予防としてリツキシマブ投与開始30分前に、アレルギー対策（ソル・コーテフ注、ポララミン注）の点滴、発熱対策（ロキソプロフェン）の服用を行います



また、ゆっくりと点滴スピードを上げていきます
呼吸困難感・胸痛・動悸などの症状があれば、すぐに医師または看護師に伝えましょう

循環器系への影響

- 【注意】心筋障害を起こすことがあります
動悸、不整脈、胸痛などの症状が出現したら、医師または看護師にお知らせください
- 【対策】あらかじめ、心電図・心エコーによる心機能検査を行い、リスクの評価をします

膀胱への影響

尿に血が混じる、排尿時に痛むなどの症状です

- 【注意】エンドキサン代謝物が膀胱を刺激し炎症を起こすことがあります
- 【対策】膀胱炎の予防のため、エンドキサン点滴後3日間は、十分に水分をとり、尿量を増やしましょう（1.5L/日程度を目安にしてください）

プレドニンの影響

血糖値の上昇、精神変調（不眠、いらいら、うつ症状など）
また、食欲亢進作用があります（制吐作用があります）

肺への影響

薬剤性の間質性肺炎のため、発熱の持続・から咳・身体動時の息切れが出現することがあります

- 【注意】発熱・から咳・息切れが出現した場合は、医師または看護師にお知らせください

※その他の副作用については
「がん化学療法を受けられる方へ」の
パンフレットを参照してください



退院後の日常生活について



★活動

規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう

疲れたときは十分な休息をとりましょう

引き続きカテーテルが入っている腕の激しい運動（伸ばしたり、回したり）は、しないようにしましょう（カテーテルを抜いた後は制限はありません）

★食事

バランスの良い食事を心がけましょう

食欲がないときは無理をせず、食べやすいものを食べられるときにとるようにしましょう

脂っこいもの、消化に悪いものや刺激物は避けましょう

においのないもの、のど越しの良いもの、味の濃いものが食べやすいようです

生魚や川魚、はちみつは食べないようにしましょう

その他に避けたほうが良い食品がある場合は、医療スタッフから説明します



* 最終治療を終えた方…

次回外来受診時まで、生魚や川魚、はちみつは食べないようにしましょう
外来で血液検査の結果を見て判断しますので、医師に確認しましょう

★お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください

他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください

* 最終治療を終えた方…

37.5℃以上の発熱がある場合の対応について

- 処方されているお薬を医師の指示どおりに服用してください
- お薬を飲み始めたら、処方されている期間は飲み続けましょう
- ただし、飲み始めて、湿疹が出る、下痢がひどい、などの症状があれば、服用をやめ、がん相談支援センターに相談しましょう



★清潔

シャワー浴をして体を清潔にしましょう

(ただし発熱時やだるさが強い場合は入浴を控え、温かいタオルなどで拭くようにしましょう)

シャワー浴時、PICCカテーテルが濡れないようにビニール手袋を装着する必要があります

ビニール手袋は、くろ～ば～で購入できます

退院後にカテーテルの上のテープがはがれた際は、ご連絡ください

PICCカテーテルを抜いて24時間経てば、絆創膏を外して入浴やシャワー浴を行ってもかまいません

CVCカテーテルを留置している方は、テープやチューブを濡らさないように上半身は温かいタオルなどで拭いて、下半身はシャワー浴をしましょう

冬場など皮膚が乾燥していると皮膚が弱くなり、感染を起こしやすくなります
市販の保湿クリームなどで保湿をしましょう

抗がん剤の投与後、およそ5日目から10日目ころに口内炎が発生しやすくなります
歯ぐきの傷つきを防止するため、歯ブラシは小さめの柔らかいブラシのものを使うとよいでしょう

また、刺激の弱い歯磨き粉を用いるとよいでしょう

退院後、処方されているうがい薬があれば使用しましょう

★受診 (治療を終えた方や外来で治療を継続する方)

定期的に来外来を受診してください

外来受診時に検査のある場合は、医師または看護師から説明があります
検査は状況に応じてあります





- 震えや寒気を伴う発熱があるとき
- 37.5℃以上の発熱が続くとき
- 管の入っているところの腫れ、痛み、赤み、熱感があるとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13：00～17：00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



R-EPOCH療法を受けられる方へ